

2024年12月期

決算補足説明資料

2025年2月10日

荏原実業株式会社

心地よい環境を、未来へつなぐ。



1. エグゼクティブ・サマリー

エグゼクティブ・サマリー

2. 2024年12月期 決算概要

2024年12月期 業績ハイライト

2024年12月期 業績推移

2024年12月期 セグメント別業績推移

2024年12月期 セグメント別業績（前期比）

売上高・売上総利益・受注高・受注残高の推移

3. 2025年12月期 事業計画

2025年12月期 事業計画

2025年12月期 セグメント別事業計画

2025年12月期 計画のポイント

4. 株主還元

配当

自己株式の取得

5. トピックス

パーパスの制定とコーポレートブランドの刷新

ウォーターPPPレベル3.5の契約締結

6. 資料編

事業概要

沿革

セグメント別事業概要

過去10年間の業績推移

セグメント別業績推移

市場環境

- 公共水インフラ設備の更新・整備需要、防災・減災需要は引き続き堅調
- 民間分野は国内の工場新設や設備更新に伴う需要が堅調
- 資機材価格の上昇分は価格転嫁が進む
- 感染症対策関連の需要が減少

2024年12月期 決算のポイント

- 人件費を中心に販管費が増加するものの、売上高の増加に伴い営業利益・経常利益は過去最高を更新
- 堅調な市場環境を追い風に受注高・受注残高は過去最高を更新

2025年12月期 事業計画

- 市場環境は官民ともに堅調に推移しており、高水準の受注残高（前期比23億円増）を背景に増収を見込む
- 事業成長を担う注力分野の「防災・減災」「蓄電池」「水産」を中心に受注高・売上高の増加を計画
- 人件費の増加、積極的な開発投資による研究開発費の増加により、販管費の増加を計画

株主還元

- 2024年12月期は1株当たり配当金 95円を予定
- 2025年12月期は創業記念配当20円を含め、1株当たり配当金120円（25円の増配）を計画
- 株主還元の一環として、自己株式取得の検討を継続

中期経営計画

- 2025年2月10日公表の別紙をご参照ください。

2024年12月期 決算概要

市場環境

- 公共水インフラ設備の更新・整備需要、防災・減災需要は引き続き堅調
- 民間分野は国内の工場新設や設備更新に伴う需要が堅調
- 資機材価格の上昇分は価格転嫁が進む
- 感染症対策関連の需要が減少

受注高・売上高・営業利益・経常利益いずれも過去最高を更新

※比較は全て前期比

売上高

375.0億円

(12.2億円↑/3.4%↑)

- メーカー事業では、蓄電池、感染症対策製品が減少
- エンジニアリング事業と商社事業が増加

受注高

398.3億円

(13.8億円↑/3.6%↑)

- メーカー事業と商社事業で増加
- エンジニアリング事業では若干減少

売上総利益

117.2億円

(5.8億円↑/5.2%↑)

- エンジニアリング事業と商社事業では売上高の増加に加え利益率も向上
- 資機材価格の上昇分は価格転嫁が進む

受注残高

337.5億円

(23.2億円↑/7.4%↑)

- 全てのセグメントで受注残高が増加

営業利益

42.5億円

(2.2億円↑/5.6%↑)

- 人件費および研究開発費を中心とした販管費の増加を売上総利益の増加が上回る

経常利益

44.4億円

(2.7億円↑/6.7%↑)

当期純利益

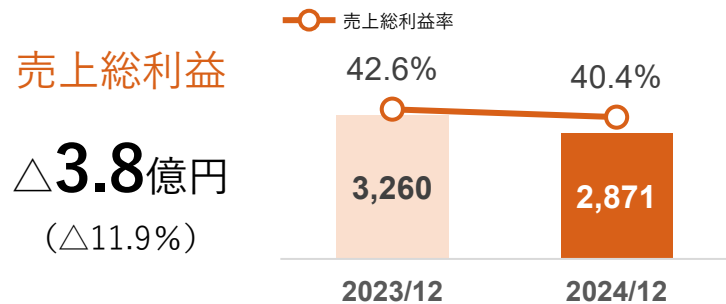
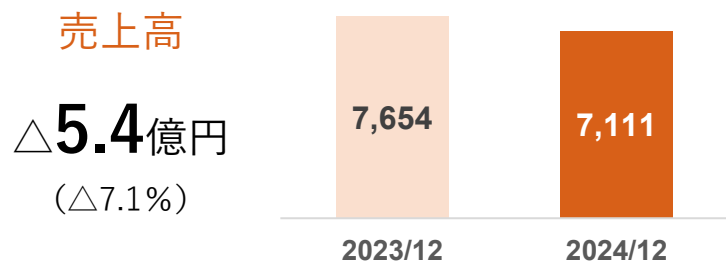
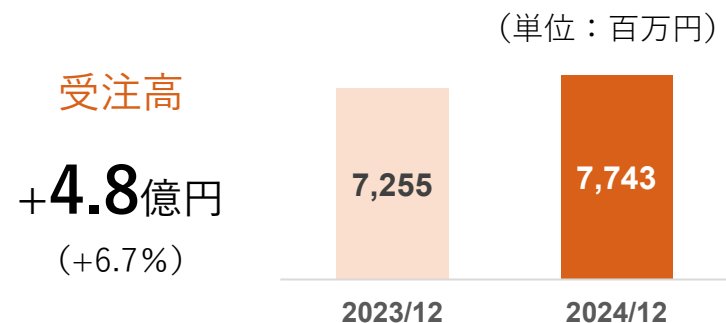
31.5億円

(0.1億円↑/0.5%↑)

(単位：百万円)	2022/12		2023/12		2024/12		前期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
売上高	30,229	100.0	36,280	100.0	37,503	100.0	+ 3.4	+ 1,222
売上総利益	9,282	30.7	11,142	30.7	11,727	31.3	+ 5.2	+ 584
販管費	6,525	21.6	7,117	19.6	7,475	19.9	+ 5.0	+ 358
営業利益	2,756	9.1	4,025	11.1	4,251	11.3	+ 5.6	+ 226
経常利益	2,929	9.7	4,164	11.5	4,443	11.8	+ 6.7	+ 279
当期純利益	2,169	7.2	3,141	8.7	3,157	8.4	+ 0.5	+ 16
受注高	34,643	-	38,452	-	39,833	-	+ 3.6	+ 1,381
受注残高	29,250	-	31,421	-	33,750	-	+ 7.4	+ 2,329

(単位：百万円)		2022/12	2023/12	2024/12	前期比	
					増減率(%)	増減額
メーカー事業	受注高	7,626	7,255	7,743	+ 6.7	+ 487
	売上高	6,288	7,654	7,111	△ 7.1	△ 543
	売上総利益	2,580	3,260	2,871	△ 11.9	△ 389
エンジニアリング事業	受注高	16,349	20,835	20,500	△ 1.6	△ 335
	売上高	14,408	17,671	18,872	+ 6.8	+ 1,200
	売上総利益	4,234	5,201	5,682	+ 9.3	+ 481
商社事業	受注高	10,667	10,360	11,589	+ 11.9	+ 1,229
	売上高	9,532	10,954	11,520	+ 5.2	+ 565
	売上総利益	2,467	2,680	3,173	+ 18.4	+ 492

メーカー事業



受注高

(単位：百万円)

分野	増減要因	増減
計測	● 半導体業界向け需要の停滞により減少	△ 393
省エネ・創エネ	● 産業向け蓄電池が減少、デシカント除湿機が増加	△ 96
脱臭	● 脱臭剤・フィルターの交換需要が重なり増加	+ 286
水処理プラント	● 水景施設の大型案件を受注し増加	+ 953
医療	● 感染症対策製品の需要が減少	△ 262

売上高

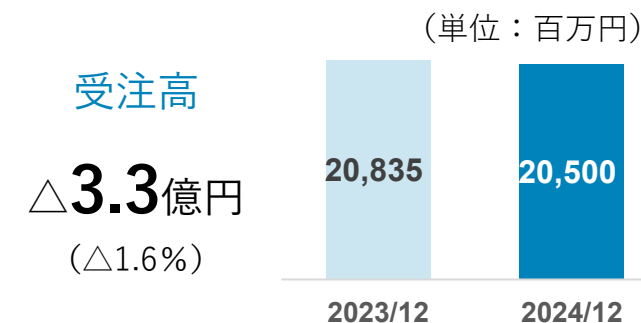
(単位：百万円)

分野	増減要因	増減
計測	● 半導体業界向け需要の停滞により減少	△ 99
省エネ・創エネ	● 産業向け蓄電池が減少	△ 498
脱臭	● 脱臭剤は安定的に推移	△ 53
水処理プラント	● 陸上養殖設備が増加	+ 425
医療	● 感染症対策製品の需要が減少	△ 320

売上総利益

- 売上高の減少に伴い、売上総利益も減少
- 売上総利益率は、医療分野の売上高減少に伴い低下

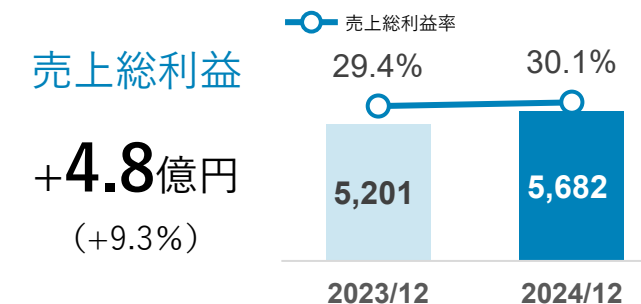
エンジニアリング事業



- 前期に獲得した大型案件の反動減があったものの小幅減少に留まる

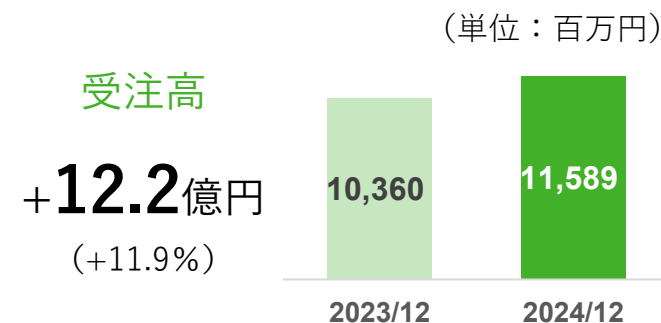


- 受注残高を背景に、工事が進捗し増加

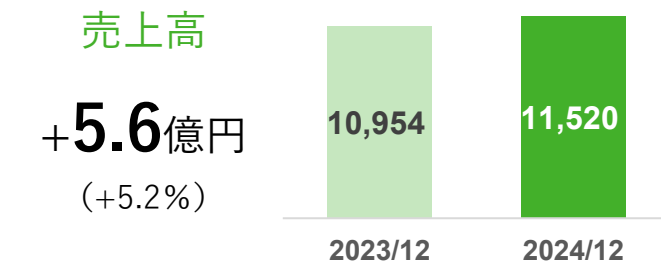


- 売上高の増加に伴い、売上総利益も増加

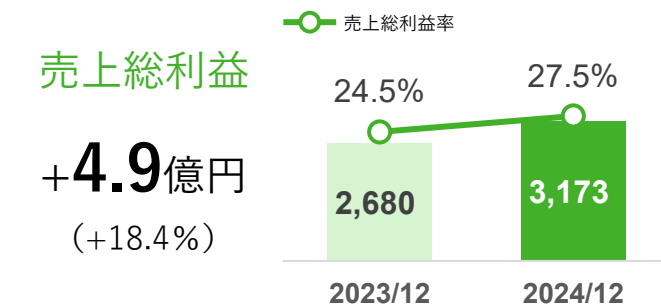
商社事業



- 半導体工場や医薬品工場において設備の増強・更新需要が堅調



- 期首受注残高は少なかったものの、受注高が増加し出荷も順調に進んだため増加



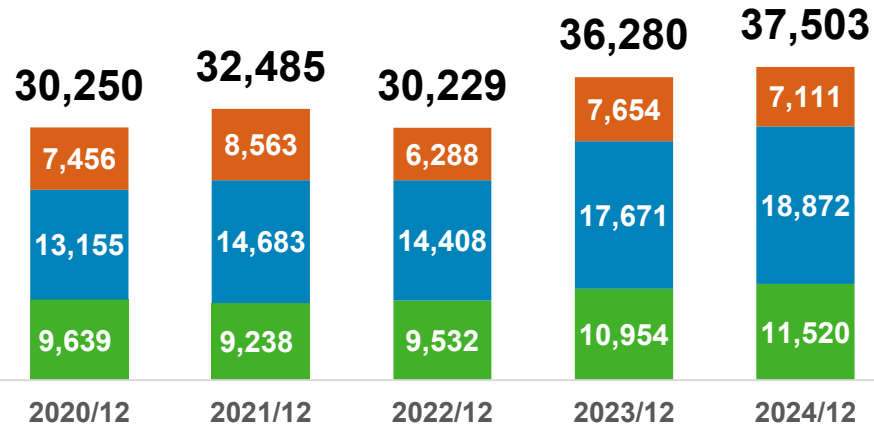
- 売上高及び売上総利益率の上昇により増加
- 特殊仕様品などの高利益率案件あり

売上高・売上総利益・受注高・受注残高の推移

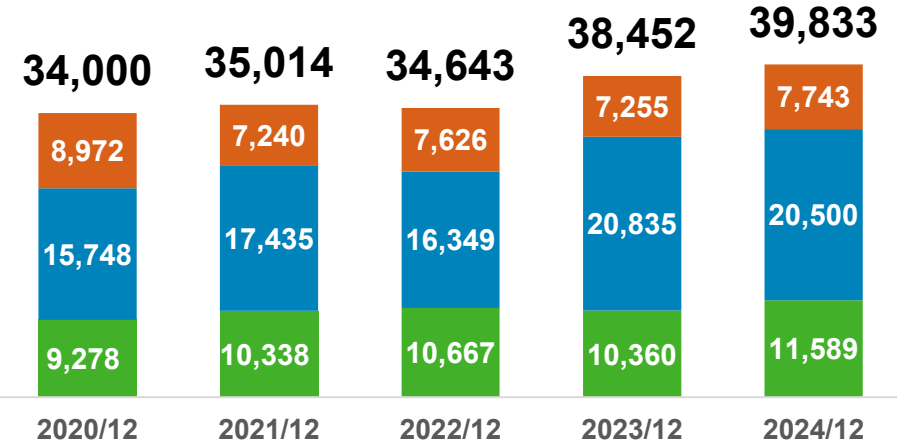
■ メーカー ■ エンジニアリング ■ 商社

(単位：百万円)

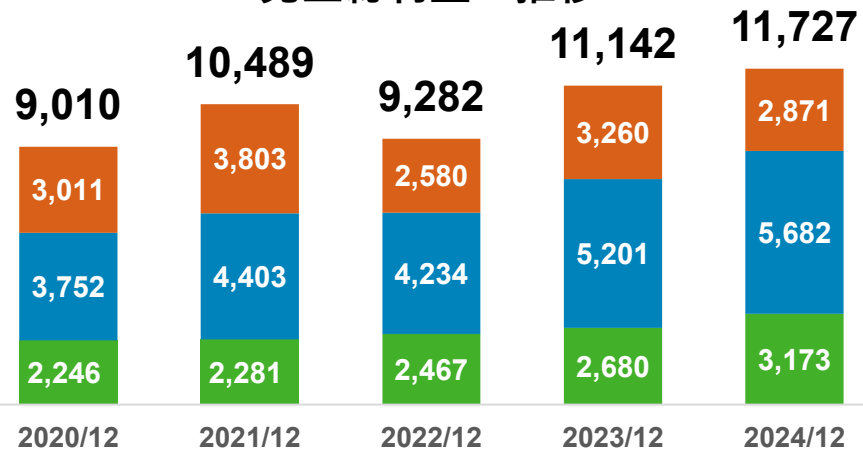
売上高の推移



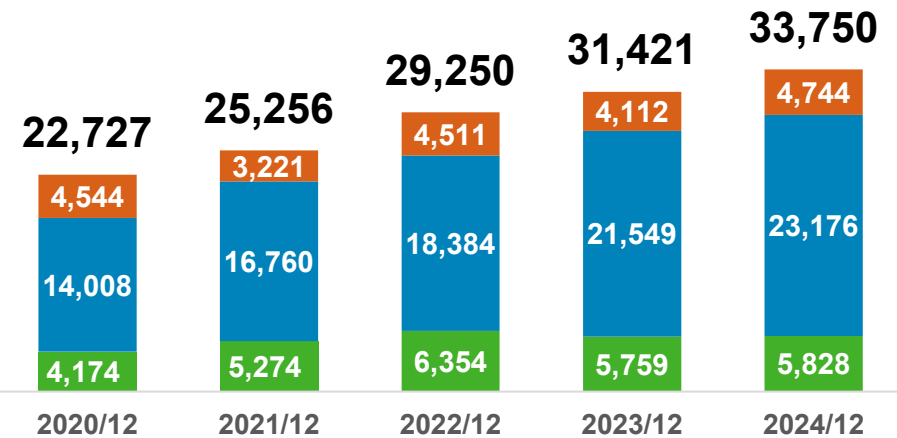
受注高の推移



売上総利益の推移



受注残高の推移



2025年12月期 事業計画

- 市場環境は官民ともに堅調に推移しており、高水準の受注残高（前期比23億円増）を背景に増収を見込む
- 事業成長を担う注力分野の「防災・減災」「蓄電池」「水産」を中心に受注高・売上高の増加を計画
- 人件費の増加、積極的な開発投資による研究開発費の増加により、販管費の増加を計画

(単位：百万円)	2023/12 実績		2024/12 実績		2025/12 計画		前期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
売上高	36,280	100.0	37,503	100.0	40,000	100.0	+ 6.7	+ 2,497
売上総利益	11,142	30.7	11,727	31.3	12,400	31.0	+ 5.7	+ 673
販管費	7,117	19.6	7,475	19.9	7,900	19.7	+ 5.7	+ 425
営業利益	4,025	11.1	4,251	11.3	4,500	11.2	+ 5.8	+ 249
経常利益	4,164	11.5	4,443	11.8	4,650	11.6	+ 4.7	+ 207
当期純利益	3,141	8.7	3,157	8.4	3,300	8.3	+ 4.5	+ 143
受注高	38,452	-	39,833	-	42,000	-	+ 5.4	+ 2,167
受注残高	31,421	-	33,750	-	35,750	-	+ 5.9	+ 2,000

			2024/12	2025/12 計画		前期比		
					構成比(%)	増減率(%)	増減額	
メーカー事業			(単位：百万円)					
			受注高	7,743	8,300	-	+ 7.2	+ 557
			売上高	7,111	8,000	100.0	+ 12.5	+ 889
売上総利益			2,871	3,200	40.0	+ 11.5	+ 329	
エンジニアリング事業			受注高	20,500	21,200	-	+ 3.4	+ 700
			売上高	18,872	20,000	100.0	+ 6.0	+ 1,128
			売上総利益	5,682	6,000	30.0	+ 5.6	+ 318
商社事業			受注高	11,589	12,500	-	+ 7.9	+ 911
			売上高	11,520	12,000	100.0	+ 4.2	+ 480
			売上総利益	3,173	3,200	26.7	+ 0.9	+ 27

成長の核とすべく、ニッチ戦略と事業領域の拡大を進める

市場環境

- 脱炭素社会を見据えた省エネ・創エネ設備の需要拡大
- 水産試験場等の設備更新需要の増加に加え、陸上養殖への民間投資が拡大
- 半導体業界向けの需要拡大

受注高・売上高

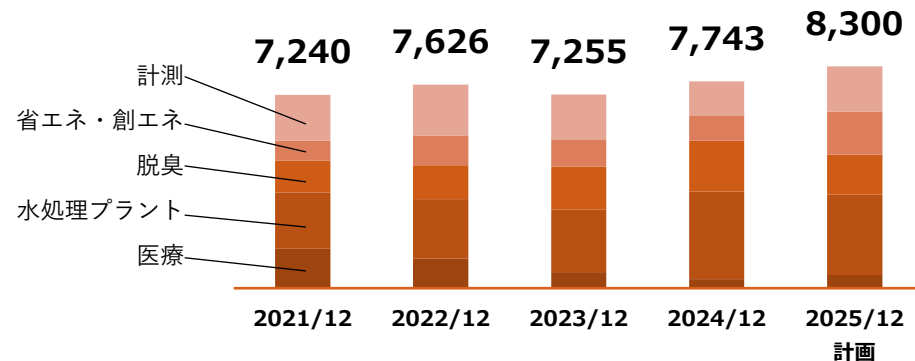
- 市場拡大が続く省エネ・創エネ分野の蓄電池が増加
- 陸上養殖設備の需要拡大を背景に水処理プラント分野が増加
- 半導体業界向け計測器の需要は下期以降に回復見込み

売上総利益

- 売上高の増加により売上総利益も増加

受注高

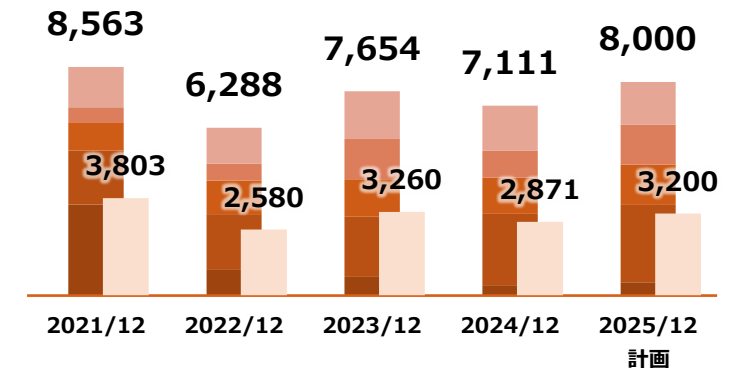
(単位：百万円)



売上高

売上総利益

(単位：百万円)



顧客軸・製品軸の両面から、事業領域を開拓

市場環境

- 公共水インフラ設備の更新・整備需要が堅調に推移
- 雨水排水機能の増強などの防災・減災需要が引き続き高水準
- 資機材価格の上昇については価格転嫁が進む

受注高

- 公共水インフラ設備の更新・整備需要、防災・減災需要は引き続き堅調で増加

売上高

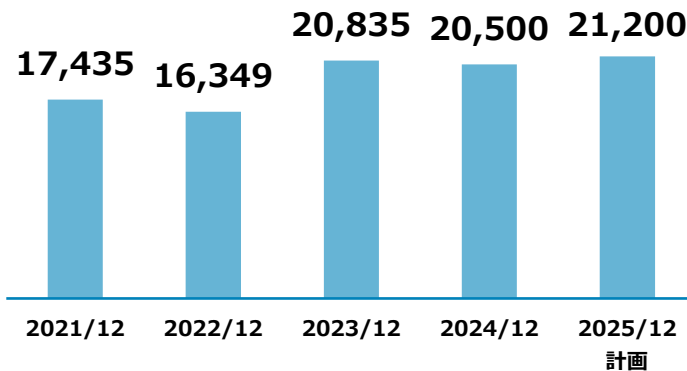
- 高い水準の受注残高を背景に増加

売上総利益

- 売上高の増加により売上総利益も増加

受注高

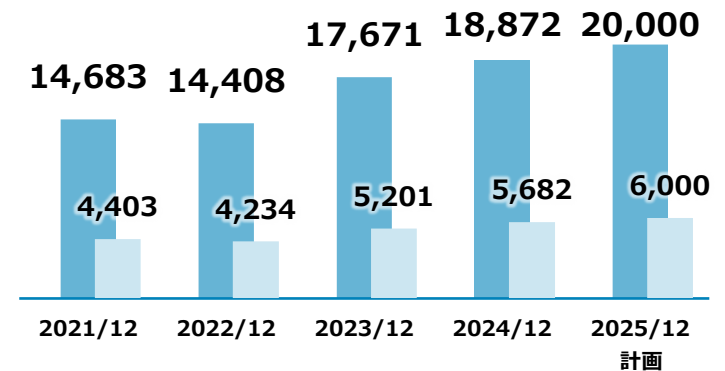
(単位：百万円)



売上高

売上総利益

(単位：百万円)



創業以来の礎である収益基盤を着実に強化

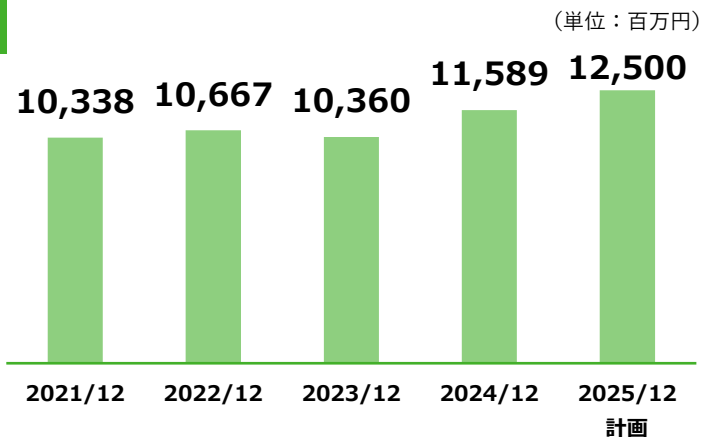
市場環境

- 民間工場における設備の増強・更新需要など設備投資が堅調に推移
- 資機材価格の上昇については価格転嫁が進む

受注高・売上高

- 半導体工場や医薬品工場における設備投資が引き続き堅調に推移し増加
- 取扱品のラインナップ強化により増加

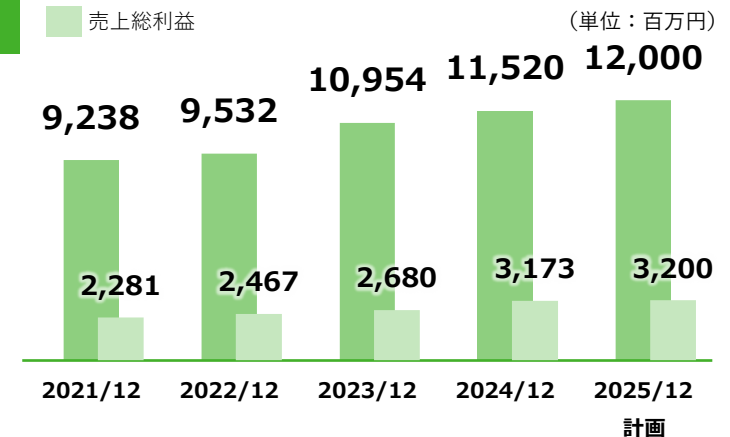
受注高



売上総利益

- 高利益率案件の剥落により売上総利益率は低下するものの売上高の増加により前期並みを維持

売上高



株主還元

基本方針

配当性向35%を目安に、安定的かつ継続的な利益還元を実施

2025年12月期は
1株当たり年間配当金**120円**を計画

普通配当
100円 (5円増配)

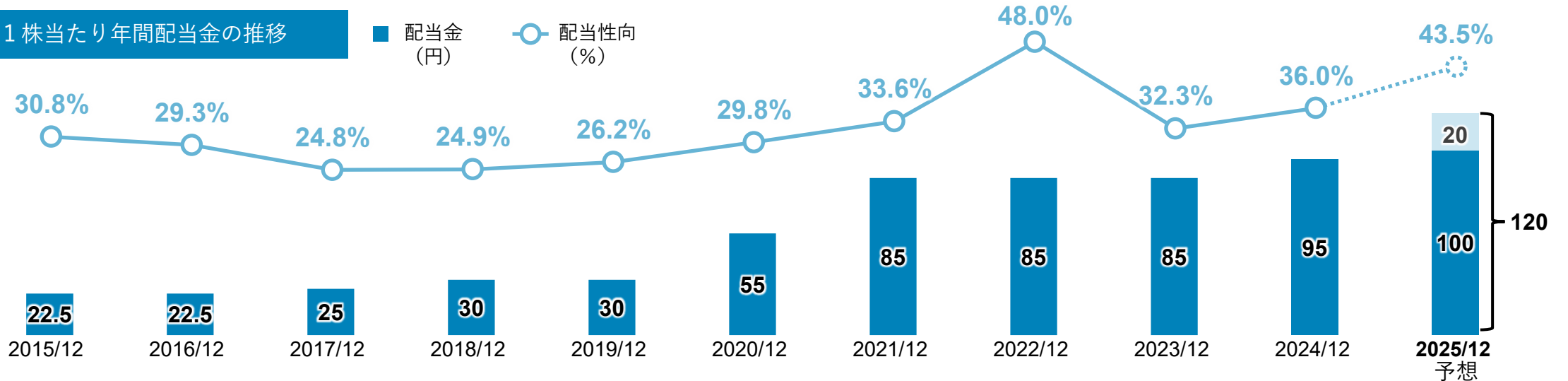
+

創業80周年記念配当
20円

		2023/12 実績	2024/12 予定	2025/12 予想
配当金	年間	85.0円	95.0円	普通配当 100.0円 記念配当 20.0円
	中間	42.5円	47.5円	60.0円
	期末	42.5円	47.5円	60.0円
配当性向		32.3%	36.0%	43.5%

※2024/12配当金は、2025年3月開催の定時株主総会に付議する予定です

1株当たり年間配当金の推移



自己株式取得額

2.7億円

5.7億円

10.0億円

3.2億円

6.8億円

3.1億円

次頁
ご参照

総還元性向

24.8%

42.1%

26.2%

53.9%

65.3%

63.1%

53.8%

45.8%

基本方針

利益還元の一つとして、資金需要・株価水準を考慮しながら、機動的に自己株式取得を実施

自己株式の取得

① 2024年9月に取締役会において決議した内容

取得価額の総額	5億円（上限）
取得する株式の総数	170,000株（上限） 発行済株式総数（自己株式除く）に対する割合1.4%
取得期間	2024年9月から2025年3月

②上記決議に基づき2024年12月期に取得した自己株式

取得価額の総額	3.1億円
取得した株式の総数	72,800株

③2025年12月期は、上記の差分である約1.9億円の自己株式取得予定に加え、基本方針のもと継続的に自己株式の取得を検討してまいります。

トピックス

当社は、2025年に創業80周年を迎えます。この節目の年において、環境や社会との関わりにおける当社の事業の目的を見つめ直し、さらなる成長を遂げるため、2024年10月1日にパーパスの制定とブランドの刷新を行いました。

▼パーパス

心地よい環境を、未来へつなぐ。

荏原実業がこれまで一貫して提供してきた、そして今後も変わらず提供していく、人々の健康、快適かつ安心安全な暮らし、そして自然との共存を、「心地よい環境」という一言に集約して表現。「心地よい」という荏原実業が大切にしたい価値と、荏原実業がずっと向き合ってきた「環境」という対象を結合させ、荏原実業らしさを表現している。

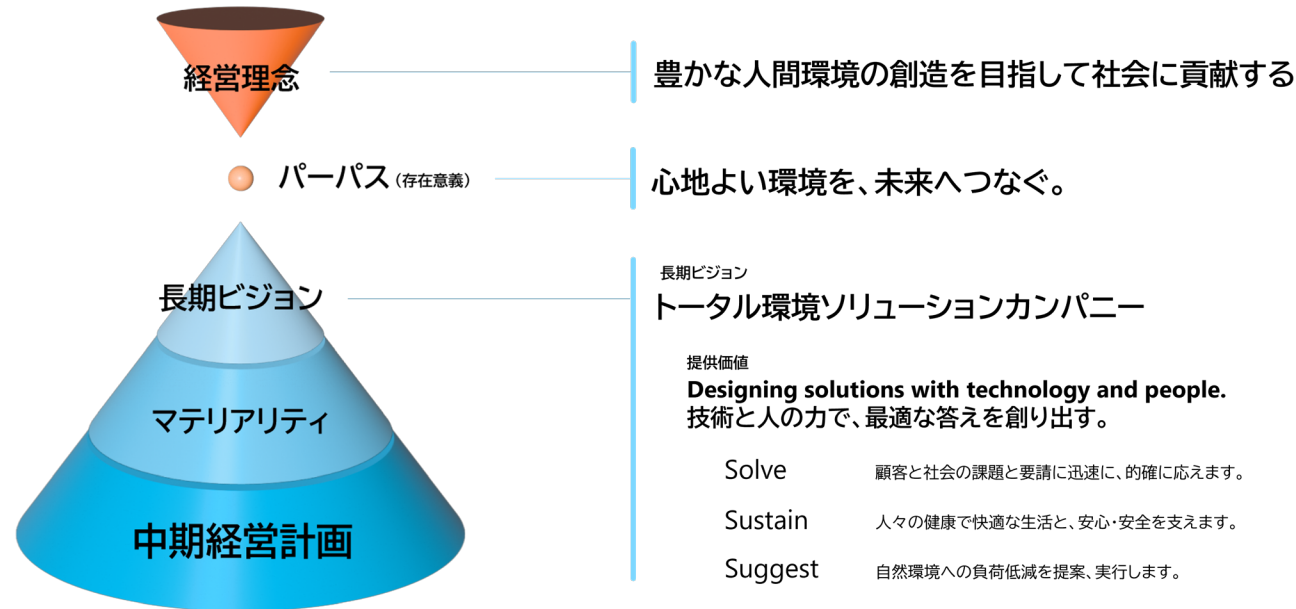
気候変動による自然災害や地震のリスク、エネルギー問題、施設の老朽化など、今日ある日常がそのまま続くとは限らない中で、「心地よい環境」を保ち、明日へと引き継いでいくことの意義は大きく、そのために荏原実業は事業を行っている、という意図が込められている。荏原実業の長い歴史や社会インフラの一翼を担っている企業としての、時間軸や規模感におけるスケール感を強調するために、「未来」という言葉を選定した。

▼ブランドロゴ



ブランドネーム：Ebatens (エバテンス)
「荏原実業のトータル環境ソリューション (EBARAJITSUGYO Total Environmental Solutions)」を集約し命名

▼価値体系図



2024年8月、当社が参画する企業グループが、静岡県企業局と「ふじさん工業用水道事業 新ポンプ場整備を伴う包括民間委託事業（更新支援型）」の契約を締結しました。ウォーターPPPレベル3.5で実施される工業用水道事業としては国内初になります。

ふじさん工業用水道は、静岡県内で最も給水能力が高い工業用水道で、地域の産業活動を支える重要な基盤となっています。しかし近年、運転管理にかかる維持管理費の増加、施設や管路の老朽化対策などの課題を抱えていました。

これらの課題を解決すべく、新ポンプ場の設計・施工と既存施設の運転・維持管理を一体的に実施するDB※+包括的民間委託方式での官民連携が導入されました。

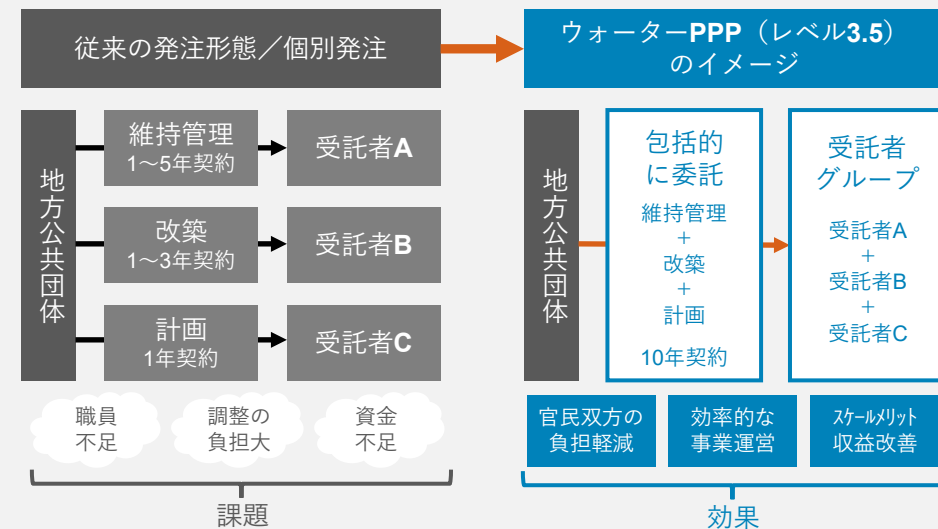
※DB：Design Buildの略称で、施設の設計と施工を一括で担う発注方式のこと。



構成企業：大豊建設（代表企業）、ウォーターエージェンシー、建設技術研究所、徳倉建設、石井組、明電舎、荏原実業

ウォーターPPPとは

民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るため、公共水インフラ等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携で行う官民連携事業のことです。ウォーターPPPレベル3.5は、公共水インフラ設備の管理・更新を一体として民間事業者が受託する方式です。



(国土交通省の資料をもとに当社作成)

資料編



Ebatens

3つの事業
セグメント

メーカー事業

環境関連製品・設備の開発・製造・販売

- 自社製品を扱う最も注力している事業
- 研究開発に重きを置いたファブレス方式を採用

エンジニアリング事業

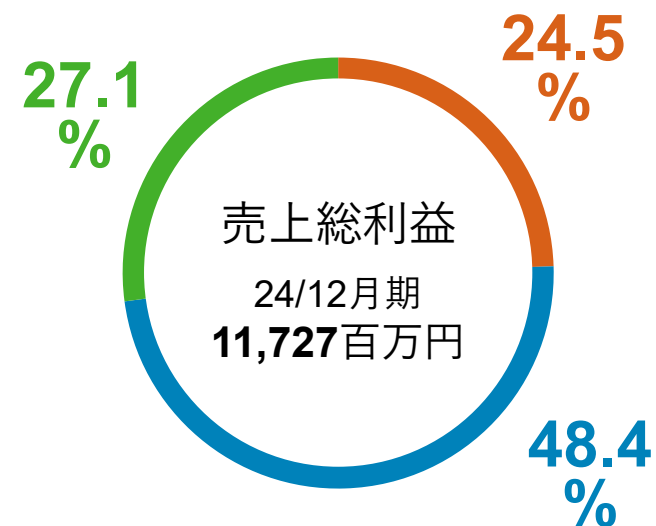
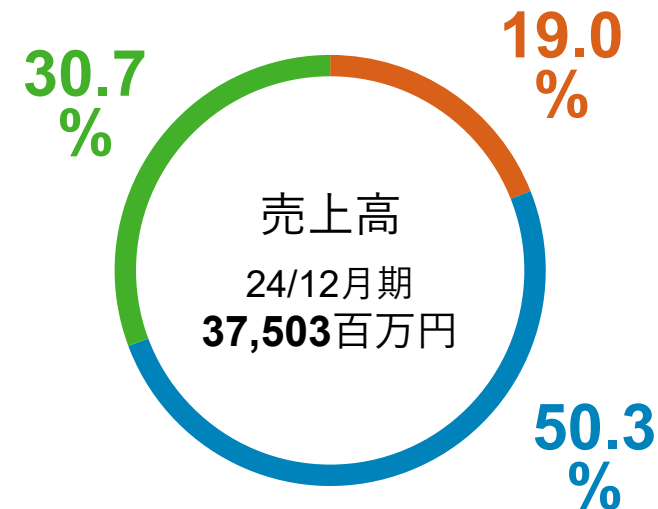
公共水インフラ設備の設計・施工・メンテナンス

- 更新・整備需要や防災・減災需要は堅調
- 事業領域を開拓・拡大

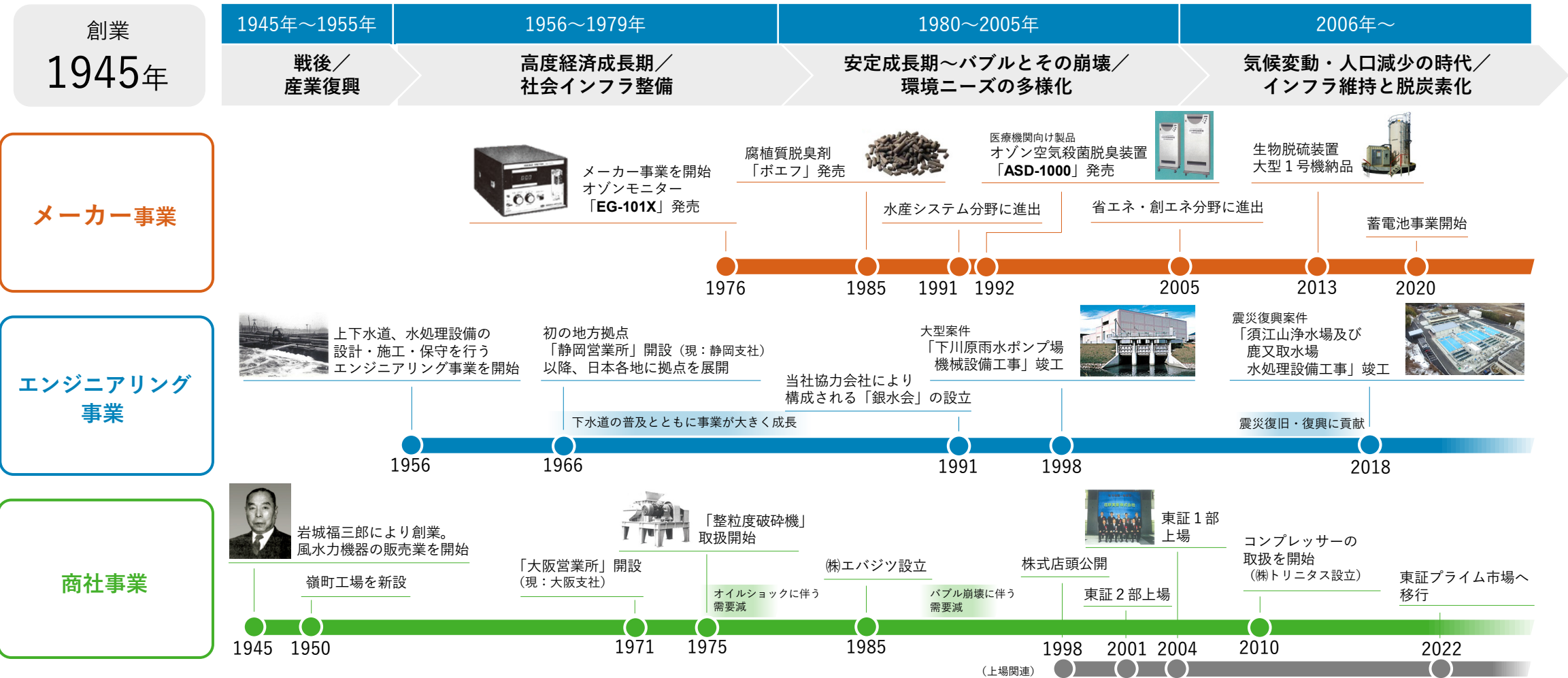
商社事業

荏原製作所グループ製品を中心としたポンプ・送風機・空調冷熱機器等の代理店販売

- 主力のポンプのほか、新商材の取扱いにも注力
- 事業エリアを全国に拡大



荏原実業グループは戦後復興期に風水力機器の販売代理業を開始。以来、日本の経済発展と公共水インフラの社会への普及とともに成長してきました。

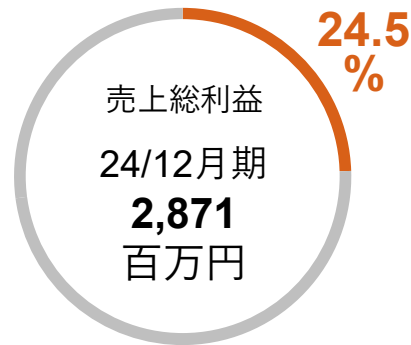


環境関連製品・設備の開発・製造・販売

連結に占める割合



連結に占める割合



社会からの要請：
水と空気における
専門性の高い製品へのニーズ



Ebatens

コンセプト

水と空気の分野における
ニッチで専門性の高い製品
を市場に供給

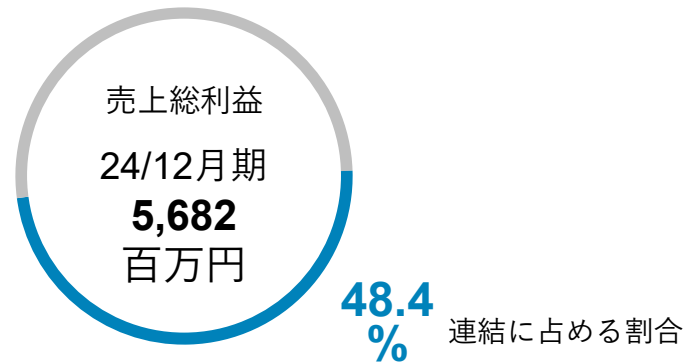
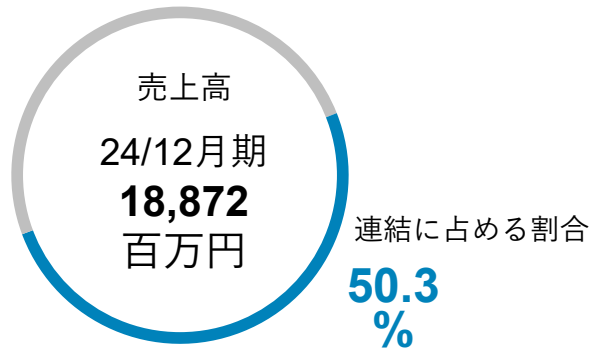
競争力の高い
オリジナル製品を供給
高い利益率を誇る

多様な顧客属性・製品ラインナップ

計測	高精度 オゾン モニタ		半導体用 オゾン モニタ	
省エネ ・ 創エネ	住宅用 蓄電池		省エネ ブロウ	
脱臭	腐植質 脱臭剤		生物 脱硫装置	
水処理 プラント	高効率 砂ろ過器		陸上養殖 システム	
医療	簡易陰圧 装置		オゾン 室内消毒 装置	

分野	事業内容	主要顧客	製品例
計測	<ul style="list-style-type: none"> 主に水処理で使われる計測機器の製造及び販売 半導体分野向けの計測機器の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設 (高度浄水施設、下水処理施設) 民間工場 (半導体、液晶、食品など) 	<p>高精度 オゾン モニタ</p>  <p>半導体用 オゾン モニタ</p> 
省エネ ・ 創エネ	<ul style="list-style-type: none"> ZEB・ZEH関連製品の開発、設計、施工及び販売 省エネブロワを中心とする送風機の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業 (空調機メーカー、オフィスビルなど) 民間工場 (食品、飲料、製紙、化学など) 	<p>住宅用 蓄電池</p>  <p>省エネ ブロワ</p> 
脱臭	<ul style="list-style-type: none"> 産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・装置の製造及び販売 生物脱臭・脱硫装置の設計、製作及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設 (下水処理施設、農業集落排水施設) 民間工場 (食品、飲料など) 商業施設 (除害設備) 	<p>腐植質 脱臭剤</p>  <p>生物 脱硫装置</p> 
水処理 プラント	<ul style="list-style-type: none"> 産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工 栽培漁業・養殖業及び水景施設向けエンジニアリング 	<ul style="list-style-type: none"> 民間工場 (食品、飲料、製紙、化学など) 公共施設 (水産試験場など) 	<p>高効率 砂ろ過器</p>  <p>陸上養殖 システム</p> 
医療	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策、救急災害対策等、医療関連機器の開発及び販売 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関、自治体、中央官庁など 民間企業、民間工場など 	<p>簡易陰圧 装置</p>  <p>オゾン 室内消毒 装置</p> 

公共水インフラ設備の設計・施工・メンテナンス



上水道施設



河川、湖及び地下水などの取水設備から各種浄水場設備・家庭や事業所などに水を供給する配水設備まで、全ての設備機器・装置の設計・施工・メンテナンスを実施。

下水道施設



汚水を集めて下水処理場へ送る中継ポンプ場から、各種下水処理場設備・処理されたきれいな水を川などへ戻す水処理設備まで、全ての設備機器・装置の設計・施工・メンテナンスを実施。

雨水排水機場施設



台風など集中豪雨による河川の氾濫・溢水などの大きな被害から地域住民の安全な生活を守る設備として全国に展開。施設の雨水排水ポンプ設備及び電気設備の設計・施工・メンテナンスを実施。

マンホールポンプ施設



下水道の普及において欠かせない小規模な汚水中継ポンプ施設の新兵器として全国で活躍。設置スペースが取れない場所で採用され、汚水収集槽（マンホール）に水中型ポンプを設置したコンパクトな設備を提供。

クラウド型 監視システム E-Qias Cloud



上下水道関連施設を遠隔監視するシステムを提供。

荏原製作所グループ製品を中心としたポンプ・送風機・空調冷熱機器等の代理店販売

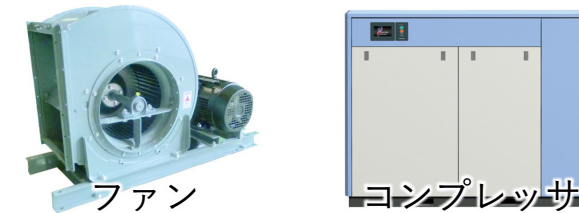
連結に占める割合

30.7
%

売上高
24/12月期
11,520
百万円

風水力/空調冷熱/
エネルギー/その他

ポンプ、送風機、空調冷熱機器等の産業機械を
商業ビル等の各種建築物や工場向けに販売



連結に占める割合

27.1
%

売上総利益
24/12月期
3,173
百万円

建築設備・
プラント施設鋼製架台
(スチールストラクチャー)
製作・取付け

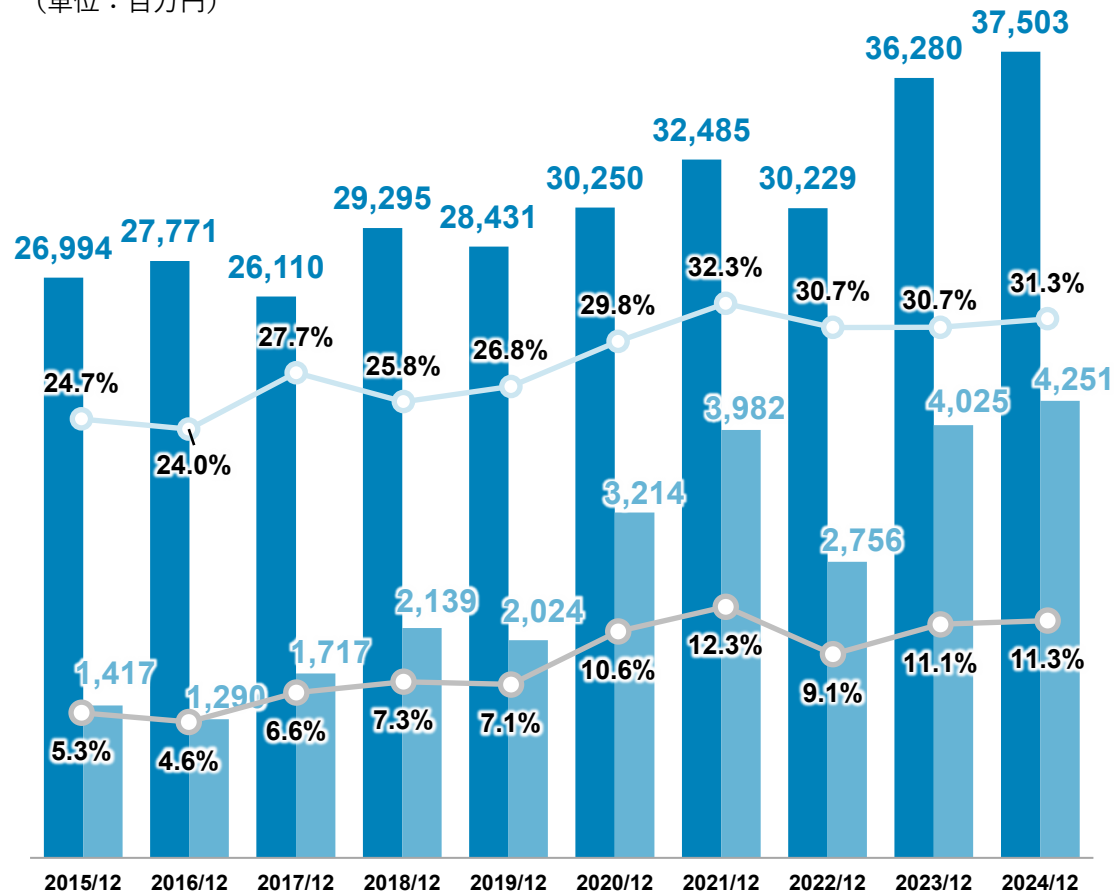


過去10年間の業績推移

売上高・営業利益の推移

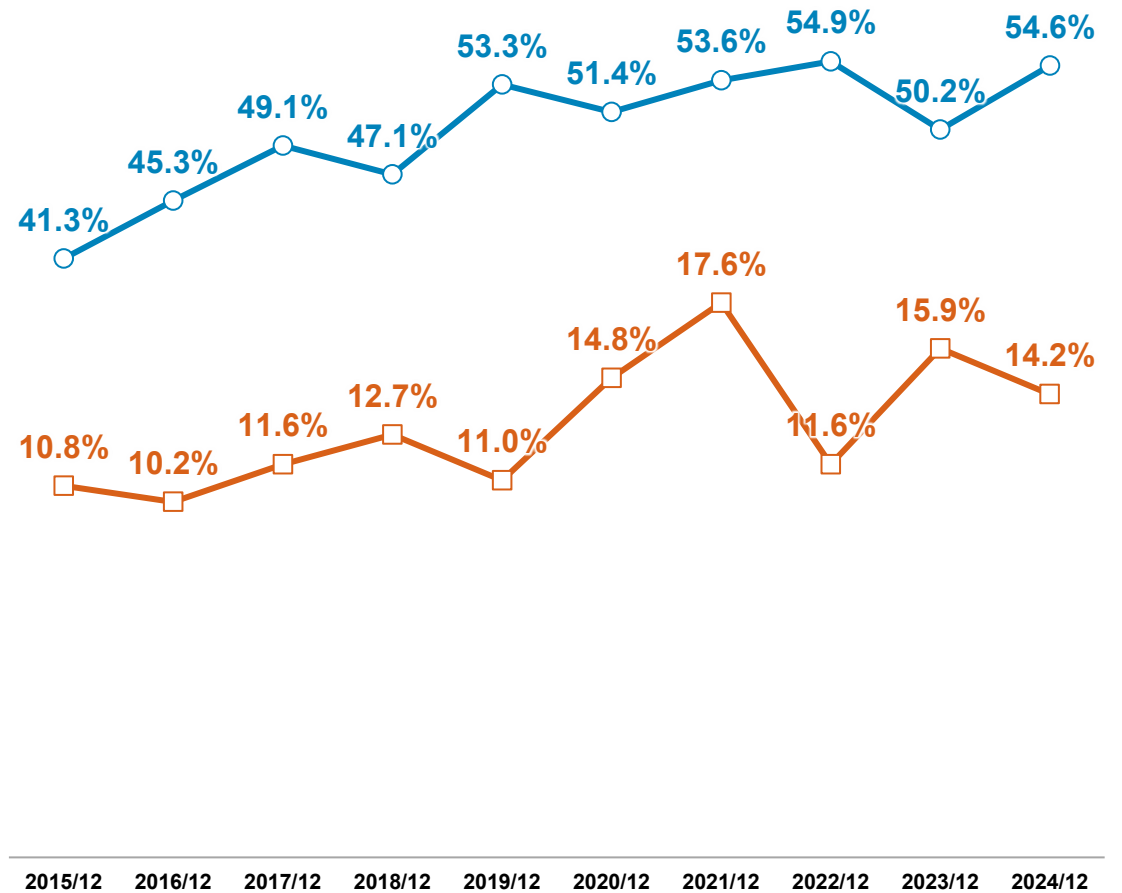
■ 売上高 ■ 営業利益 ○ 売上総利益率 ○ 営業利益率

(単位：百万円)



ROE・自己資本比率の推移

○ 自己資本比率 □ ROE



セグメント別業績推移

(単位：百万円)		2021/12		2022/12		2023/12		2024/12		2025/12	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
受注高	計測	1,717	+13.0%	1,908	+11.1%	1,682	△11.8%	1,289	△23.4%	1,700	+31.9%
	省エネ・創エネ	739	+15.1%	1,120	+51.6%	1,018	△9.1%	922	△9.4%	1,600	+73.5%
	脱臭	1,197	+21.3%	1,264	+5.6%	1,622	+28.3%	1,908	+17.6%	1,500	△21.4%
	水処理プラント	2,110	+0.8%	2,228	+5.6%	2,328	+4.5%	3,281	+40.9%	3,000	△8.6%
	医療	1,476	△60.4%	1,106	△25.1%	605	△45.3%	343	△43.3%	500	+45.8%
	メーカー	7,240	△19.3%	7,626	+5.3%	7,255	△4.9%	7,743	+6.7%	8,300	+7.2%
	エンジニアリング	17,435	+10.7%	16,349	△6.2%	20,835	+27.4%	20,500	△1.6%	21,200	+3.4%
	商社	10,338	+11.4%	10,667	+3.2%	10,360	△2.9%	11,589	+11.9%	12,500	+7.9%
	合計	35,014	+3.0%	34,643	△1.1%	38,452	+11.0%	39,833	+3.6%	42,000	+5.4%
売上高	計測	1,514	+9.1%	1,350	△10.8%	1,792	+32.7%	1,693	△5.5%	1,600	△5.5%
	省エネ・創エネ	590	△14.4%	637	+8.0%	1,503	+135.9%	1,005	△33.1%	1,500	+49.3%
	脱臭	1,023	+0.7%	1,252	+22.4%	1,403	+12.1%	1,350	△3.7%	1,500	+11.1%
	水処理プラント	2,033	△22.7%	2,060	+1.3%	2,251	+9.3%	2,676	+18.9%	2,900	+8.4%
	医療	3,402	+96.3%	989	△70.9%	705	△28.7%	385	△45.4%	500	+29.9%
	メーカー	8,563	+14.9%	6,288	△26.6%	7,654	+21.7%	7,111	△7.1%	8,000	+12.5%
	エンジニアリング	14,683	+11.6%	14,408	△1.9%	17,671	+22.6%	18,872	+6.8%	20,000	+6.0%
	商社	9,238	△4.2%	9,532	+3.2%	10,954	+14.9%	11,520	+5.2%	12,000	+4.2%
	合計	32,485	+7.4%	30,229	△6.9%	36,280	+20.0%	37,503	+3.4%	40,000	+6.7%
売上総利益	メーカー	3,803	+26.3%	2,580	△32.2%	3,260	+26.4%	2,871	△11.9%	3,200	+11.5%
	エンジニアリング	4,403	+17.4%	4,234	△3.8%	5,201	+22.8%	5,682	+9.3%	6,000	+5.6%
	商社	2,281	+1.6%	2,467	+8.1%	2,680	+8.6%	3,173	+18.4%	3,200	+0.9%
合計	10,489	+16.4%	9,282	△11.5%	11,142	+20.0%	11,727	+5.2%	12,400	+5.7%	
販売費及び一般管理費	6,507	+12.3%	6,525	+0.3%	7,117	+9.1%	7,475	+5.0%	7,900	+5.7%	
営業利益	3,982	+23.9%	2,756	△30.8%	4,025	+46.0%	4,251	+5.6%	4,500	+5.8%	
営業外収益	230		241		241		255		200		
営業外費用	102		68		103		63		50		
経常利益	4,110	+22.2%	2,929	△28.7%	4,164	+42.1%	4,443	+6.7%	4,650	+4.7%	
特別利益	338		140		201		116		100		
特別損失	57		21		0		20		-		
税金等調整前当期純利益	4,392	+31.5%	3,048	△30.6%	4,365	+43.2%	4,539	+4.0%	4,750	+4.6%	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,159	+34.9%	2,169	+31.3%	3,141	+44.8%	3,157	+0.5%	3,300	+4.5%	

2024年10月1日。荏原実業株式会社は、さらなる進化を目指し、コーポレートブランド「Ebatens」を立ち上げました。

心地よい環境を、未来へつなぐ。



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

荏原実業株式会社